

共同社長就任に当たって

## グループ共通のPurposeと 力強いパートナーシップのもと、 2023年度に向けた 新中期経営計画の達成と 「株主価値最大化」を目指します。

2021年4月28日、私たち2人、若月雄一郎とウィー・シューキムが代表執行役共同社長に就任しました。 私たちは、強固な信頼関係に基づいたパートナーシップのもと、執行の全責任をともに背負って日本ペイント グループの経営をリードし、経営上のミッションである「株主価値最大化(MSV)」を目指してまいります。

MSVの実現において、「EPS(1株当たり当期利益)」と「PER(株価収益率)」が重要な指標となります。 ウィーは、2009年以来、12年間にわたりNIPSEAグループのCEOとして、年率10%以上成長してきた実績を 踏まえ、主に「EPSの最大化」に努め、グローバルなオペレーションを統括しながら、売上拡大と利益の最大化 を目指します。一方、若月は、資本市場とのコミュニケーションやM&Aなどの豊富な経験をもとに、主に資本 市場の期待を高める「PERの最大化」に努めます。当社グループの経営管理全般にかかる業務を担うとともに、 M&Aによるさらなる成長を目指します。なお、それぞれ主担当はあるものの、経営判断は2人で行い、全体の 結果に対して共同責任を負います。

当社グループは、2021年度に創業140周年を迎えた日本で最も長い歴史を誇る総合塗料メーカーであり、 中国・アジアをはじめ世界30の国と地域で事業を展開しています。2021年3月に発表した新中期経営計画 において、2023年度に売上収益1兆1,000億円、営業利益1,400億円を目指しています。加えて、グループ 全体を貫く存在意義を示すPurpose「サイエンス+イマジネーションの力で、わたしたちの世界を豊かに。」 を策定しました。国内外のパートナー会社の自律的な経営を尊重しながら、その共通の価値観のもとで世界 各地の多様性豊かな構成員が強い絆で協働し、MSVの実現に向けて取り組んでいます。

塗料業界は社会課題の解決に貢献できる素晴らしい産業であり、今後もグローバルで着実な発展・拡大が 見込まれます。当社グループはこの成長産業における長い歴史と伝統を重視しながら、成長への飽くなき追求 とベンチャー気質、多様で優れた人材を特色とする強力かつユニークな企業グループであり、私たち2人は、 そのようなグループを率いるリーダーとしての誇りを持ちながら、刻々と変化する事業環境に的確に対応し、 持続的な成長を確固たるものにしてまいります。

株主・投資家の皆様には、今後ともご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

若月雄一郎